

2008/04/25

「トヨタ環境活動助成プログラム」2008年度の募集を開始

トヨタ自動車(株)(以下、トヨタ)は「持続可能な発展」のための環境改善や保全に向けた活動を助成する「トヨタ環境活動助成プログラム」の2008年度助成対象の募集を開始する。

このプログラムは、トヨタが1999年に国連環境計画から「グローバル500賞」*を受賞したことを記念し、環境分野での社会貢献活動の一環として2000年度から実施しているもので、今年で9年目となる。

本年は地球規模の喫緊の環境課題である「地球温暖化」と「生物多様性」を助成対象テーマとし、実践的なプロジェクトを推進するNPOなどの民間非営利団体(学校は対象外)・グループを助成対象とする。また、助成枠は、1件あたりの助成金額や活動地域に制約を設けない「一般助成枠」と、助成額に上限を設けて申請方法を簡素化した「小規模助成枠」(国内の活動を対象)の2種類を用意している。なお、助成総額は例年どおり約2億円を予定。

「2008年度トヨタ環境活動助成プログラム」募集概要は以下のとおり。

1. 助成対象テーマ

「地球温暖化」「生物多様性」

2. 助成枠の概要

- (1) 一般助成枠(一件あたり上限金額なし、国内外のプロジェクトを対象)
環境学習・体験、学習・体験の場の創出・提供、実験段階の環境技術の市民レベルでの普及・定着を目的としたプロジェクト
 - (2) 小規模助成枠(一件あたり200万円を上限、日本国内の活動を対象)
身近な環境を保全するための地域に根ざした実践的な草の根活動。
- * 但し、過去に小規模助成枠で助成を受けた団体の、小規模助成枠での再助成は不可。
一般助成枠での申請を推奨。

3. 助成期間

2009年1月より3年以内(一般助成枠)、2年以内(小規模助成枠)

4. 募集期間

2008年4月25日(金)～6月20日(金)(必着)

5. 助成の決定

国内外の有識者等7名で構成する選考委員会で選考。
選考結果については、2008年10月中に通知予定。

6. 応募方法および助成プログラム詳細の問い合わせ先

トヨタ環境活動助成プログラム事務局
住所：〒100-0004 東京都千代田区大手町2-3-6 MBE-363号
TEL：03-3272-1925(受付対応：月～金 9:30～17:30) FAX：03-3272-1926
E-mail：toyota-ecogrant@mri.co.jp
URL：<http://www.toyota.co.jp/jp/environment/ecogrant/> (日本語)
<http://www.toyota.co.jp/en/environment/ecogrant/> (英語)

* グローバル500賞(1987～2003年)：

国連環境計画(UNEP)が環境の保護・改善に功績のあった個人または団体を表彰する制度。トヨタは世界初の量産型ハイブリッド車の発売等が評価され1999年に日本企業として初めて受賞した。

以上

■トヨタ環境活動助成プログラム選考委員(敬称略・順不同)

(2008年4月25日現在)

中村 桂子	JT生命誌研究館 館長(委員長)
鈴木 基之	放送大学 教授
細田 衛士	慶應義塾大学経済学部 教授
Ashok Khosla	デベロップメント・オルタネイティブス 代表(インド)
Peterson Myers	環境衛生科学 代表取締役、全米環境トラスト 理事長(米国)
Göran A. Persson	欧州応用科学技術評議会 エネルギー・環境委員会委員(スウェーデン)
葉山 稔樹	トヨタ自動車株式会社 常務役員

■過去の支援プロジェクト

(1)年度別・地域別 助成プロジェクト件数

活動対象地域	累計	2007年度			2006年度			2005年度			2004年度 計	2003年度 計
		計	枠		計	枠		計	枠			
			一般	小規模		一般	小規模		一般	小規模		
アジア・太平洋	53	7	7	0	7	7	0	7	7	0	10	3
北米・中南米	15	2	2	0	3	3	0	1	1	0	1	2
アフリカ	13	3	3	0	3	3	0	1	1	0	4	2
欧州	7	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2
日本	51	15	0	15	12	0	12	13	0	13	1	1
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	140	27	12	15	25	13	12	24	11	13	16	10

(2)2007年度助成決定プロジェクト一覧

枠	プロジェクト名称	実施団体(所在国)	実施国
一般助成枠	アマゾン森林のコパイバ油の抽出と商品化によるカトゥキナインディアンの持続的な収入確保	OPAN - オペラサオン アマゾニア ナティヴァ (ブラジル)	ブラジル
	フィリピン の山岳地域におけるバイオ燃料とペトロレムナッツ抽出による農場世帯の活性化	パインツリー (フィリピン)	フィリピン
	サンジーヴァン:学校を基礎においた薬草教育と保全計画	CEE - 環境教育センター (インド)	インド
	持続可能な自然資源利用による地域の活性化	社団法人日本環境教育フォーラム (日本)	インドネシア
	地域主導を支援した、ベトナムメコンデルタ地域における環境保全推進	地域保健開発研究センター (ベトナム)	ベトナム
	ノマディックと地域農家のための、廃棄物処理回収とバイオ資源管理による牧草地の再生と侵食抑制	GREENER - 環境教育と再生促進のための世代 (ナイジェリア)	ナイジェリア
	モザンビークにおける環境対策のための農民指導	ADPP - 人のための人材開発援助 - モザンビーク (モザンビーク)	モザンビーク
	インド、ラジャスタンにおける貧困農家のための持続可能なバイオ燃料サプライチェーン構築	ヒューマナ 人から人へ - インド (インド)	インド
ベトナム向け都市水環境改善プロジェクト	特定非営利活動法人 ICA文化事業協会 (日本)	ベトナム	

枠	プロジェクト名称	実施団体(所在国)	実施国
一般助成枠	環境技術教育と地域密着型の再生可能エネルギー計画の統合	グリーンエンパワメント(アメリカ)	ペルー
	健全な湿地帯、健全な人々:ネパール、ポカラ湖の保全と管理における若者の教育と動員	WFN - ウェットランドフレンズ オブ ネパール(ネパール)	ネパール
	ケニアにおける地域に根ざした海洋牧場とマンガローブの管理	持続可能な開発のためのクウェツ研修センター(ケニア)	ケニア
小規模助成枠	生駒市西畑地区の棚田・里山の再生と創造	いこま棚田クラブ(日本)	日本
	“ものづくり”3R工房	八幡酒蔵工房(日本)	
	山がんまり	NPO法人珊瑚舎スコーレ(日本)	
	釧路湿原自然再生住民プロジェクト	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路(日本)	
	ナキウサギの保全活動を軸とした環境教育とまちづくり	ナキウサギの鳴りづくりプロジェクト協議会(日本)	
	チクリンチェックプロジェクト	特定非営利活動法人 環境デザイン・エキスパート・ネットワーク(日本)	
	田んぼで育った魚を活かした環境教育プロジェクト	旅するおさかなサポーター(日本)	
	うら谷津再生プロジェクト	うら谷津再生委員会(日本)	
	棚田を未来につなぐために	共存の森ネットワーク(日本)	
	コアジサシの恒久的営巣地の整備と営巣環境の研究	特定非営利活動法人 リトルターン・プロジェクト(日本)	
	環境整備と地域協働ビジネスモデル構築事業	特定非営利活動法人 TEAM笑美S(日本)	
	「野焼き・輪地切り」牧野データベース	財団法人 阿蘇グリーンストック(日本)	
	竹富島の生活環境史	NPOたきどうん(日本)	
	小網代の森における保全推進事業	特定非営利活動法人 小網代野外活動調整会議(日本)	
食油文化再生プロジェクト	NPO地域づくり工房(日本)		

以上